

# テーマ選定理由

- 野々市市の町内活動の活性化が進んでいない

## 現状調査(問題)

**ポイント**

- 町内行事を活性化させることが担い手不足、空き家問題につながる。

**前提条件**

- 行事のときに仕事をしている人がかなりいる(40%)

図1 アンケート結果

## ニーズの確認

表1 ニーズ確認

対象者	ニーズ
野々市市役所	毎年行う各種手続き等の引継ぎがうまくいかない 引継書のような書類がない
押野町丸木	役員の担い手不足 高齢者が施設に入ることにより空き家が目立つ 斬新なアイデアが思いつかず、祭がマンネリ化
徳用町	高齢者と若者の交流が少ない 若者の行事への参加率が減少している 全世代が楽しめるイベントを増やす・改良する

## 現状値、目標値

- 行事の参加率が低い
- 行事の参加率を上げる(60%)

## 既存策, 問題点の例

**既存策の例**

早稲田大学の大学祭

- 客が少ないサークルの催し物や展示物がある。
- テーマがマニアックで客が興味を持たない。
- 人を呼び込むため、パンフレットに若者の流行を取り入れるなど工夫する。

**町内会の問題点は**

- 若者の参加率が低い
- 幅広い年齢層の方が楽しめる行事が少ない
- 活動のマンネリ化

図3 既存策の実例

## 課題解決のためのアイデア創出

図4 アイデア創出経緯

## 創出したアイデア

公民館の競技だけでなくスカパー10kmのウォーク等の屋外行事も開催  
 町内の年金受給者が得意競技の講師となり公民館で教室を開講

スマホ・タブレットのイベント情報アプリを案内

町内の人達の交流が活発化

町内会活動が活発化

図5 概念図

## アイデア名 地域アプリ

■提案の短所(弱み): 弊所に作業が取れない本質的な箇所を3つあげる。

- スマホ、タブレットの情報発信元の管理者がいる
- 高齢者にスマホの扱いが浸透しにくい可能性がある

■提案の長所(強み): 3つあげる。

- 若い人の参加が期待できる
- 家にも参加できるイベントがある
- 若い人→高齢者のつながりができ地域に一体感かできる(高齢者の孤立化を防ぎやすい)
- 信頼できる高齢者が増えたと子供の避難場所ができ、地域の中でのびのびと子育てができる
- スマホでイベント管理することで端末に情報が残り、町内会長の交代がスムーズにできる

図6 地域アプリ イメージ

## 活動のまとめ

- スマホ、タブレットで地域のイベントが活性化する。
- 行事の参加者が多くなる。